

## 大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）事後評価結果

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 大 学 名 | 神戸大学                         |
| 整理番号  | A①-5                         |
| 事 業 名 | 東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家養成プログラム |

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

|   |                              |
|---|------------------------------|
| 総括評価<br><br><b style="font-size: 2em;">A</b>  | 事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現された。 |
| コメント<br>本事業は、高麗大学校及び復旦大学と協力して、東アジアの言語及び社会に対する理解や社会科学諸分野における学術的専門性を高め、リスク・マネジメントという観点から問題を分析し政策策定を主導するスキルを身に付けた、国際機関や NGO で活躍できるようなグローバル人材の育成を目指している。<br>事業展開では、ダブルディグリー・プログラムが順調に発展し、短期プログラムや交換留学といった周辺の交流プログラムも充実している。コンソーシアム運営委員会において、カリキュラム、単位認定、成績基準等を協議して決定することが図られ、教員連絡会議においては共同研究指導のための意見交換の機会が設けられており、質保証の仕組みが確立している。「キャンパスアジア室」が機能しており、外国人学生に対するサポート体制が整備されているとともに、産業界と連携し、インターンシップや就職支援を行っている点も評価できる。<br>また、国際合同シンポジウムの開催により多様性のある学生が集うことができるような工夫がなされており、大学の国際化に貢献しているといえる。SNS 等による国内外への情報提供も積極的に実施されている。<br>全体的な目標の達成状況としては、日本人学生数が計画を大幅に上回っている点は評価できるが、一方でコロナ禍において、外国人学生数の受入数が達成目標を下回っている側面も見受けられた。コロナ禍での経験が今後のリスク・マネジメントに反映されることを期待したい。また、今後の展開として、3大学が進めてきたプログラムを東南アジア諸国も含めて拡張していくとしているが、成功しているインターンシップの組み入れや修了生との連携等、プログラムの更なる魅力向上を視野に入れ、東南アジア諸国への展開が具体化されることを期待したい。<br>最後に、大学の世界展開力強化事業による補助期間は終了したが、引き続き質保証を伴う発展的な事業展開の実施によって、我が国の大学教育を牽引し、更なるグローバル展開力の強化に寄与されることに期待する。 |                              |